リョウキョウ

2 生薬の性状の項を次のように改める.

1

3 4

6

7

9

10

11 12 13

生薬の性状 本品はやや湾曲した円柱形を呈し、しばしば分枝する.長さ $2{\sim}8{\rm cm}$ 、径 $6{\sim}15{\rm mm}$ である.外面は赤 褐色~暗褐色を呈し、細かい縦じわ及び灰白色の輪節があり、ところどころに細根の跡がある.質は堅くて折りにく い、折面は淡褐色を呈し、繊維性で、皮層部の厚さは中心柱の径とほぼ等しい。

本品は特異なにおいがあり、味は極めて辛い.

本品の横切片を鏡検〈5.01〉するとき、最外層は表皮からなり、表皮細胞にはしばしば油様物質を含む、表皮につ づき,皮層,内皮,中心柱が認められる.皮層と中心柱は1層の内皮によって区分される.皮層及び中心柱は柔組織 からなり、繊維で囲まれた維管束が散在する. 柔組織中には褐色の油様物質を含む油細胞が散在し、柔細胞中にはシ ュウ酸カルシウムの単晶を含み、単粒のでんぷん粒は、長卵形、楕円体、又は卵球形でへそは偏在し、径 10~40um である. 2~8 粒からなる複粒も含まれる.